

IEA GA&PCと今後の技術士制度との関係(案)

<p>国際的通用性を測る指標</p>	<p><u>IEA:GA(卒業生として身に付けるべき知識・能力)</u> (ワシントン協定(WA)卒業生に対して) ①複合的なエンジニアリング問題を解決するために、数学、科学、エンジニアリング基礎、及び一つのエンジニアリング専門の知識を応用する ②複合的なエンジニアリング問題について、数学、自然科学、エンジニアリング・サイエンスの原理の理解に基づいた知識を用いてその全容を同定し系統立て、文献を調べ、分析し、具体的な結論を得る ③複合的なエンジニアリング問題について、公衆の衛生と安全、文化、社会及び環境に適切に配慮しつつ、定められた要件を満たす解決策をデザインし、かつ、システム、構成要素又は工程をデザインする (以下略)</p>		<p><u>IEA:PC(専門職として身に付けるべき知識・能力)</u> (エンジニア) ①優れた実践に必要な汎用的な原理に関する高度な知識を理解し応用する ②自分の活動する国又は地域に特有の優れた実践の基礎となる汎用的な原理に関する高度な知識を理解し応用する ③複合的な問題を明確にし、調査し、及び分析する (以下略)</p>
<p>日本版GA&PC</p>	<p>策定しておらず (JABEE認定基準(共通基準&個別基準)を参考)</p>		<p><u>技術士に求められる資質能力(コンピテンシー)</u> (260122技術士分科会)より (遅くとも)35歳程度の技術者が、技術士資格の取得を通じて、実務経験に基づく専門的学識及び高等の専門的応用能力を有し、かつ、豊かな創造性を持って複合的な問題を明確にして解決できる技術者(技術士)として活躍することが期待される。 専門的学識/問題解決/マネジメント/評価/コミュニケーション/リーダーシップ/技術者倫理</p>
<p>技術士資格 (技術士試験)</p>	<p>修習技術者(仮称) 第一次試験(予備試験(仮称))</p>	<p>実務経験年数 (4年/7年)</p>	<p>技術士 第二次試験(本試験(仮称))</p>
<p>試験の目的・程度等</p>	<p>GA又はJABEE認定基準を満たすことの確認 ※ワシントン協定加盟団体(日本:JABEE)の認定課程修了者は、GAを満たすこととみなし、予備試験不要</p>		<p>日本版PCを満たすことの確認</p>
<p>技術者キャリア 技術者像</p>	<p>ステージ1 ~20歳代(大学等卒業)~ 専門の技術分野に関して、一定の基礎的学識を有し、特定の技術問題を解決できる技術者</p>		<p>ステージ3 ~遅くとも35歳程度~ 専門の技術分野に関して、実務経験に基づく専門的学識及び高等の専門的応用能力を有し、かつ、豊かな創造性を持って複合的な問題を発見して解決できる技術者</p>